

コロナ対策について

●保健所との連携強化を！

第6波の感染急拡大の中、80歳代で基礎疾患があっても自宅療養となり、「保健所からの連絡は最初の一度きり」など不安の声があいつぎました。

四條畷保健所の機能がひっ迫し、昨年11月に保健所から交野市に保健師派遣の依頼がありましたが、市は「余裕がない」との理由で、派遣を見送りました。保健所崩壊を防ぎ、救える命を救うため、市としても保健師の人員増や、保健所との連携強化が必要だと求めました。

●休園・休校対策の強化を！



コロナによって休園・休校が相次ぐなか、働きに行きたくても行けず収入減少となってしまうたり、子どもたちの居場所確保に困る家庭などが増えています。代替え保育の実施・コロナ休園休校による減収支援・登園登校前の気軽なPCR検査の実施を求めました。



気候変動への取り組みについて

地球規模の気候危機の打開は待たなしです。2030年までの日本政府の温室効果ガス削減目標は「2013年比で46%削減（2010年比では42%減）」で、国連が示した「2010年比45%減」も下回り、低すぎます。ところが、交野市環境基本計画では、国の目標のままです。長野県では、世界基準の60%削減の目標を持ち、積極的に取り組んでいます。気候危機打開のためには時間がありません。将来世代への責任を果たすためにも、交野市も国いいなりの目標ではなく、世界基準の目標を持つべきだと求めました。



公共交通・外出支援策について

ゆうゆうバスの廃止から2年。今もゆうゆうバスの再開や交通手段の充実を願う市民の声は切実です。



【問】コロナ禍で減収している事業者への市支援金（京阪バスに約2千万円など）は理解するが、あわせて、バス路線の拡充や、星田駅行きの路線の運行等について、要望・協議しているのか。

【答】星田北まちづくりに伴うニーズの変化や、南部バス路線の星田駅への運行について、バス事業者と協議し、要望している。

今年度、市、近畿運輸局、府、周辺自治体、事業者などで勉強会を進め、必要に応じ計画策定や法定協議会の設置も検討する。

【要望】ゆうゆうバス廃止後の外出支援策は、一部拡充はあるが不十分。市内公共交通のあり方を、市、事業者、住民も参加する場で検討を進めてほしい。

京阪バスの運賃収入
(交野営業所運行路線)

2019年度	12億 1547万円
2020年度	9億 379万円
差額	△3億 1168万円

総務文教常任委員会資料より

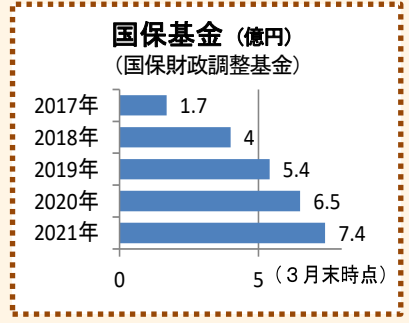
国民健康保険

基金の活用で、国保料はさらに引き下げを

今年度の国民健康保険料は、国保基金を約5400万円取り崩し、少しでも引き下げられます。日本共産党はこれまで、基金の活用・保険料引き下げを繰り返し求めてきました。一歩前進ですが、基金は約7億4千万円に増えており、さらなる活用で、保険料を引き下げよう求めました。

また、今年度から国の制度改正で、未就学児の均等割の半分は公費で負担されます。さらに、兵庫県の加西市などでは、18歳まで均等割の全額を減免しています。

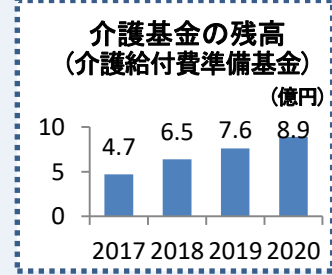
日本共産党は、交野市でも、国制度に上乘せして、子ども均等割の負担を減らすよう要望し、予算には賛成しました。



介護保険

介護保険料 引き下げは十分可能です

残った予算を積み立てている「介護基金」は約8億9千万円に増加。この基金を活用して、介護保険料を引き下げよう求めました。



介護サービス利用料 市の減免制度を！



昨年8月から、施設に入所する低所得者の食費・部屋代の補助制度が改悪されました。食費が月2万円から4万2千円に倍増するなど、大幅な負担増になる方もいます。せめて市として、利用料の減免制度をつくるべきと求めました。

差し押さえ 市は、滞納者に今年度28件も差し押さえを行っています。党議員団にも「無年金なのに、預金を差し押さえられ生活できない」との相談も寄せられています。滞納者が困窮状態にある場合には、法律が認めている「滞納処分の停止（差し押さえを行わない）」など、暮らしの実態に寄り添った対応をとるべきと求めました。



国・府への意見書

(採決結果は下の表をご覧ください)

文通費の見直しを求める意見書 → 可決

共産党と維新が案を提出し、協議の結果、維新案をもとに提案。「使途の公開」と「国民が納得できる制度に見直し」を求める内容に公明、市民クラブ、無所属(自民)がなぜか反対。討論もなく、反対理由は不明です。

日本共産党は、さらに、残額の返還、政党支部等への寄付禁止、政党助成金の廃止などを求めています。

カジノ計画の申請中止を求める意見書 → 否決

コロナ禍でカジノ事業も低迷するなか、大阪のカジノ計画は、年間1000万人の日本人利用者を見込み、後戻りできない35年契約です。夢洲の土壌汚染対策に800億円など、際限ない公金投入につながる計画の中止を求め、日本共産党が提案しましたが、賛成少数で否決に。

採決の結果 (抜粋)	共産党			公明党			維新の会			市民クラブ		会派無所属				
	皿海	藤田	北尾	三浦	友井	中谷	臼口	岡田	伊崎	野口	久保田	松村	山本	松本	片岡	
一般会計予算について	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	×	○	○	
カジノ誘致のための「区域整備計画案」の国への提出中止を求める意見書	○	○	○	×	×	×	×	×	×		○	○	○	×	×	
文書通信交通滞在費及び立法事務費に関する制度見直しを求める意見書	○	○	○	×	×	×	○	○	○		×	○	○	×	×	

○…賛成 ×…反対

なんでもお気軽にご相談ください

連絡先 藤田まり 072-397-3027
または、市役所内 (072-892-0121)
日本共産党控え室まで

